

# 平成27年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見てきた成果・課題と今後の取組について－

区名	北区
学校名	大淀中学校
学校長名	平野 大輔

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成27年4月21日（火）に、3年生を対象として、「教科（国語・数学・理科）に関する調査」と「生徒質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科も含め、総合的に子どもの学力向上を目指しています。学校の現状や取組の参考にしていただきたいと思います。

## 1 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準向上の観点から、生徒の学力や学習状況を継続的に把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 2 調査内容

### (1) 教科に関する調査（国語、数学、理科）

- ・主として「知識」に関する問題（A問題）
- ・主として「活用」に関する問題（B問題）
- ※ 理科については、主として「知識」に関する問題と主として「活用」に関する問題を一体的に出題

### (2) 質問紙調査

- ・生徒に対する調査
- ・学校に対する調査

## 3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の中学校第3学年の原則として全生徒
- ・大淀中学校では、第3学年 105名

## 平成27年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

全国平均と本校との平均正答率のポイント差は、以下のとおりであった。

- 国語A 知識（＋3.7） B 活用（＋1.8）
- 数学A 知識（＋4.2） B 活用（＋4.8）
- 理科（＋2.1）

また、平均無解答率をみると、国語A・国語B・数学A・理科で全国よりも無解答問題が少ないことを示しているが、国語・数学においては、本校の平成26年度と比較すると、無解答問題が増えている。

## 分析から見てきた成果・課題

教科に関する調査より

### 〔国語〕

これまで「読むこと」「書くこと」について課題があったため、この3年間、図書活動の活性化や読み聞かせ等、言語力の育成に取り組んできた。その結果、今年度はすべての領域において正答率が全国平均を上回る結果となった。今後は生徒自身の持つ知識の活用を高めていくような指導方法を工夫・改善していきたい。

### 〔数学〕

学習内容の確認、定着のため、すべての領域で反復練習を実施している。また、個人の習熟度に応じて基礎的内容から発展的な内容にも取り組めるように教材を準備していることにより、一定の成果が見られた。今後も教材研究を進めながら、生徒が多様な問題に取り組む姿勢を養っていきたい。

### 〔理科〕

各領域の正答率を見ても全国平均を上回っていることから、実験、観察を中心とした授業展開とそのレポートの作成に力を入れた取り組みの効果が出ている。今後は、生物的領域を中心に、個に応じた指導ならびに補充学習を進めていく必要がある。

質問紙調査より

本校では、生徒が自分の考えを発表することができる機会や場を多く確保した授業づくりに取り組んできている。さらに、言語力の育成に対して、毎朝の読書活動を行っている。これらの取り組みが今年度の国語力の向上につながったと考えられる。

基本的な生活習慣に関わり、携帯電話、スマートフォンのインターネットによる使用に関しては、昨年度からも大きく改善されている。その反面、ゲーム等で長時間にわたる使用に課題がある。これは、携帯電話やスマートフォンをSNS等の利用ではなく、主にゲーム端末として利用しているためだと考えられる。この時間が、家庭学習の時間に影響を及ぼしているということが、本調査結果の他の項目にも表れている。

生徒の自尊感情の向上のため、学校行事等、様々な教育活動を通して達成感の蓄積を大切にした自主活動の推進と、道徳教育を充実させることにより、生徒の心に響く教育活動を実践していく必要がある。

## 今後の取組

本校では、これまでの調査結果を参考にして、毎年、学校教育改善「アクションプラン」を策定し、取り組み内容を明確化して、教育活動を推進している。

今年度は「信頼される学校づくり」をテーマに、学力向上に関わり、「わかる」「できる」を大切にした授業として、学び方の指導・自学自習の習慣化・授業改善の取り組みを進めている。さらに、「自信をつけ、自己有用感を高めていく教育活動」として、学校行事をはじめとする様々な教育活動をとおして、自らの役割をやり遂げたという体験の蓄積を大切にした自主活動を推進している。

これまでの調査結果から、本校は数学に比べると国語が低い状況が見られたが、この課題に対して3年間、言語力の育成に取り組んできた。その結果、今年度は国語A、国語Bともに全国平均を上回ることができ、取り組みの成果が見られた。その反面、各教科において無解答率が昨年度に比べ高くなってしまったため、現在取り組み中の学校教育改善「アクションプラン」の内容の深化・充実を図っていき、生徒が多様な問題に取り組む姿勢を養っていくことが今後の取り組むべき課題と考える。

## 【 全体の概要 】

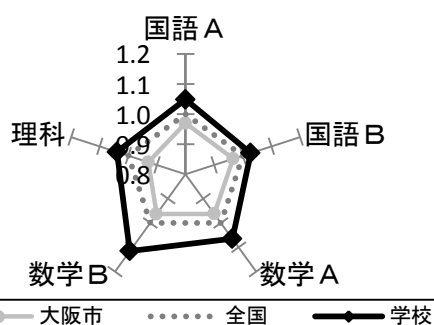
### 平均正答率 (%)

	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
学校	79.5	67.6	68.6	46.4	55.1
大阪市	73.5	63.6	62.0	40.1	49.3
全国	75.8	65.8	64.4	41.6	53.0

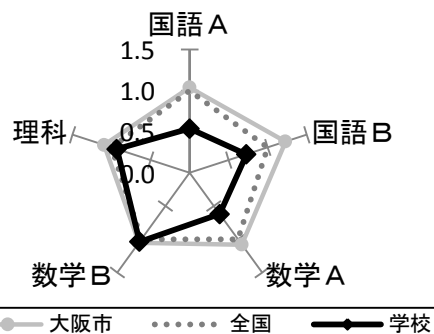
### 平均無解答率 (%)

	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
学校	1.4	1.6	2.3	15.9	6.5
大阪市	2.7	2.7	4.0	16.1	7.6
全国	2.6	2.2	3.7	15.3	7.0

平均正答率(対全国比)



平均無解答率(対全国比)



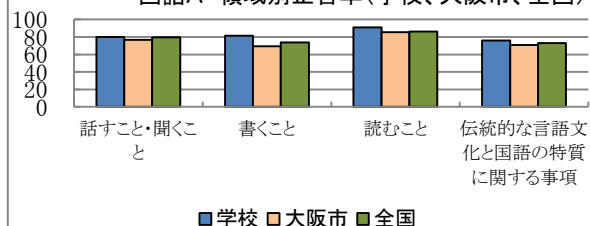
## 【 国 語 】

### A 問題

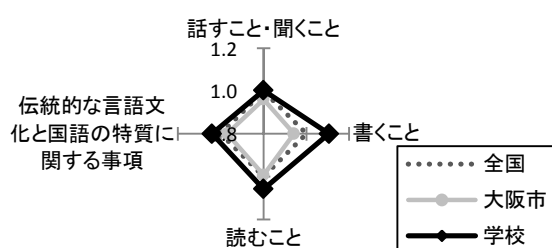
平均正答率(%)

			学校	大阪市	全国
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	4	79.9	76.6	79.7
	書くこと	5	81.4	69.3	73.6
	読むこと	5	91.1	85.5	86.1
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	19	75.9	70.7	72.9

国語A 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語A 領域別正答率(対全国比)

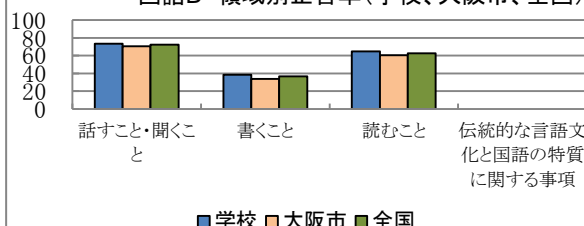


### B 問題

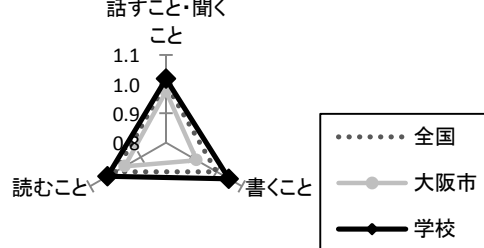
平均正答率(%)

			学校	大阪市	全国
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	73.5	70.4	72.2
	書くこと	3	38.5	33.8	36.7
	読むこと	6	64.6	60.3	62.6
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	—	—	—	—

国語B 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



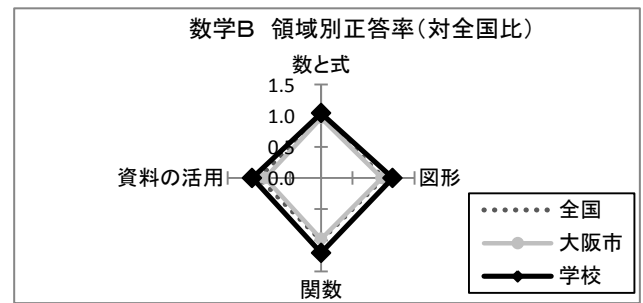
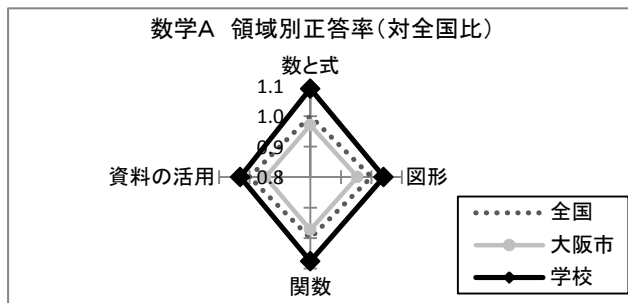
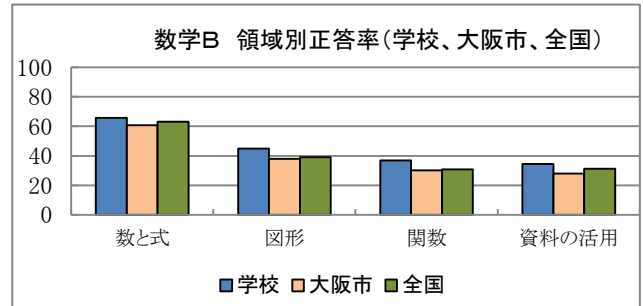
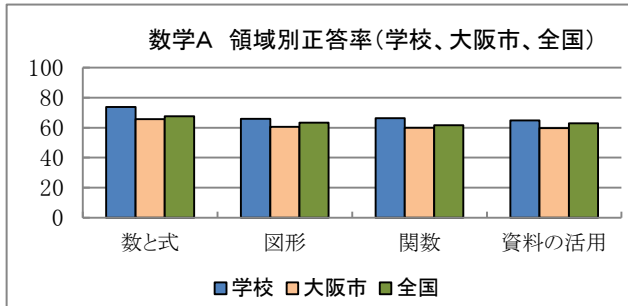
国語B 領域別正答率(対全国比)



## 【 数 学 】

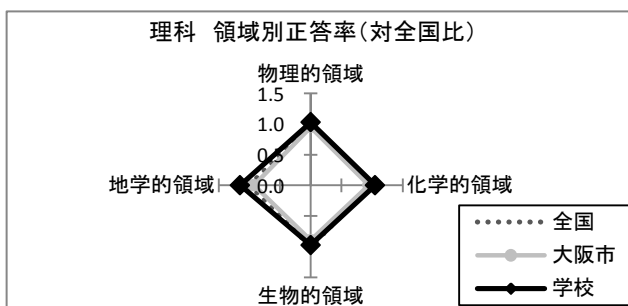
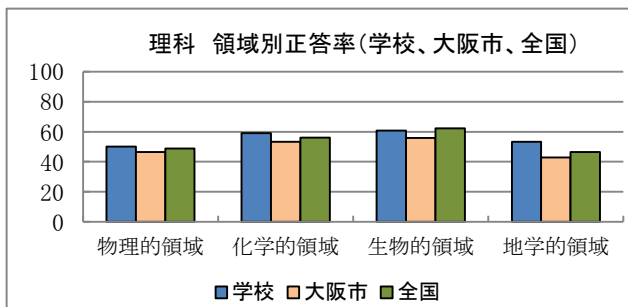
A 問 題			平均正答率(%)		
			学校	大阪市	全国
学習指導要領の 領域等	数と式	12	73.8	65.7	67.7
	図形	12	66.0	60.5	63.4
	関数	8	66.4	60.0	61.7
	資料の活用	4	64.9	59.7	63.0

B 問 題			平均正答率(%)		
			学校	大阪市	全国
学習指導要領の 領域等	数と式	4	65.7	60.8	63.2
	図形	4	44.8	38.0	39.0
	関数	5	36.9	30.1	30.7
	資料の活用	2	34.5	28.0	31.2



## 【 理 科 】

			平均正答率(%)		
			学校	大阪市	全国
学習指導要領の 領域等	物理的領域	7	50.2	46.4	48.9
	化学的領域	7	59.1	53.3	56.2
	生物的領域	6	60.7	55.8	62.2
	地学的領域	6	53.4	42.9	46.4



# 生徒質問紙より

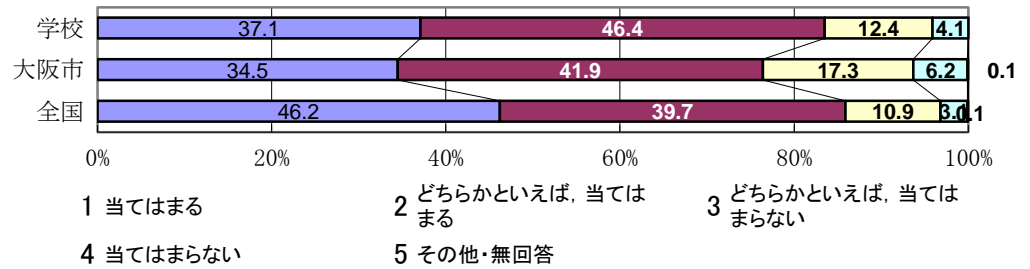
1 2 3 4 5 6 7 8 9

質問番号

質問事項

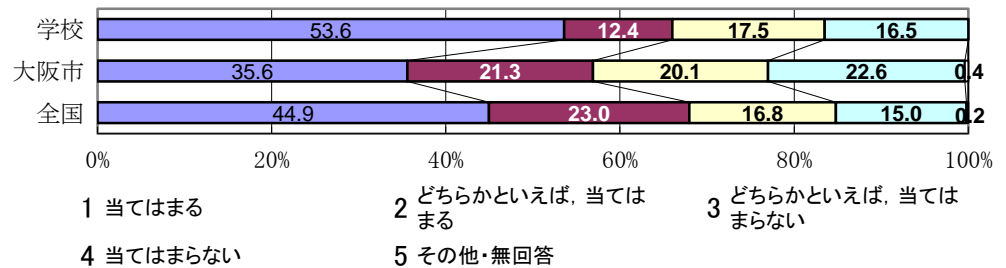
38

1, 2年生のときに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか



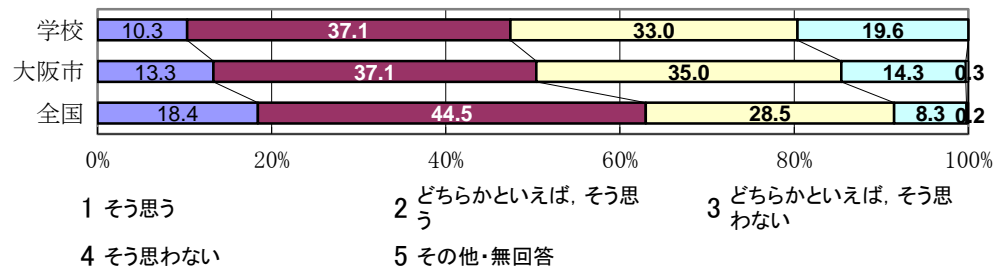
51

読書は好きですか



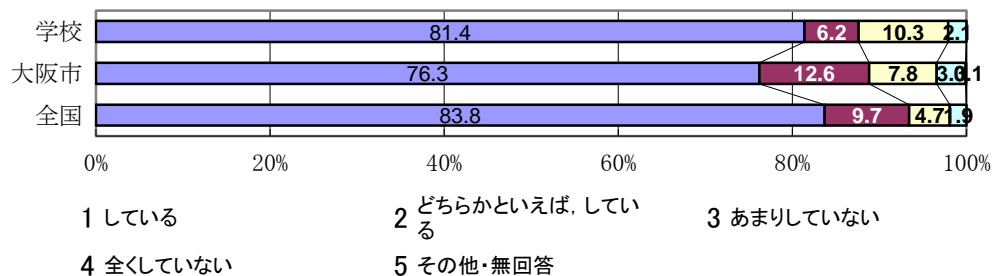
46

生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか



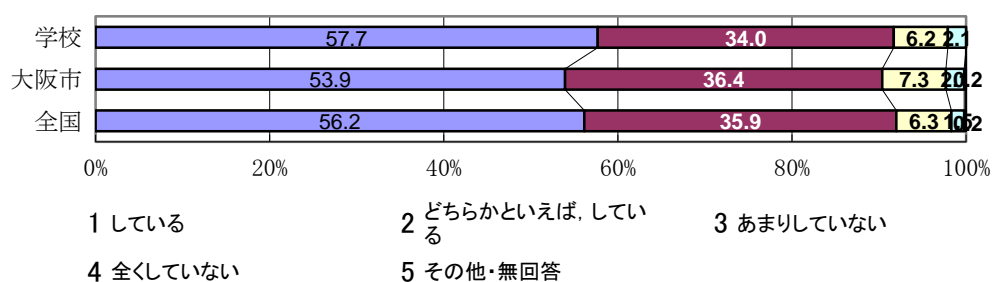
1

朝食を毎日食べていますか



3

毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



# 生徒質問紙より

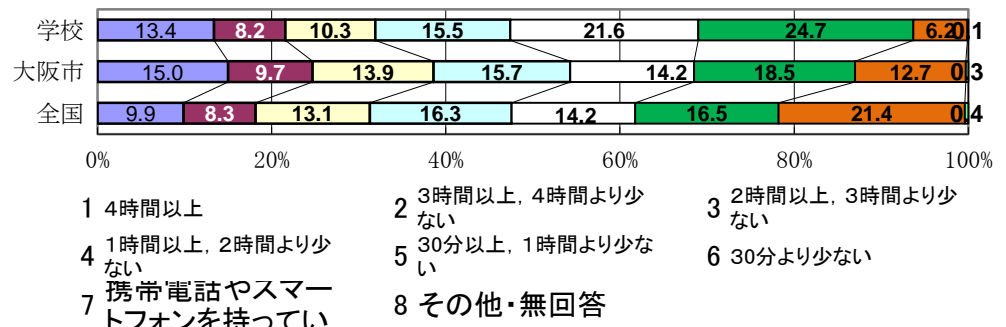
1 2 3 4 5 6 7 8 9

質問番号

質問事項

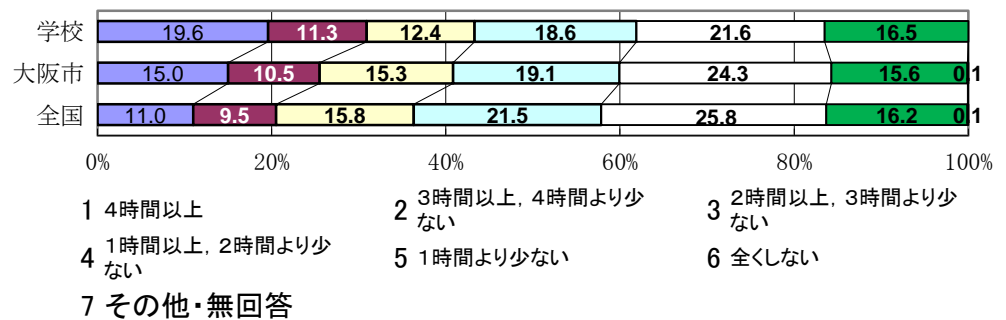
12

普段(月～金曜日), 1日当たりどれくらいの時間, 携帯電話やスマートフォンで通話やメール, インターネットをしますか(携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く)



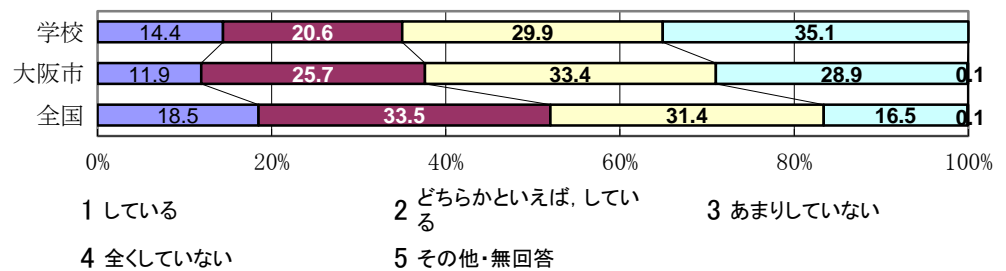
11

普段(月～金曜日), 1日当たりどれくらいの時間, テレビゲーム(コンピュータゲーム, 携帯式のゲーム, 携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか



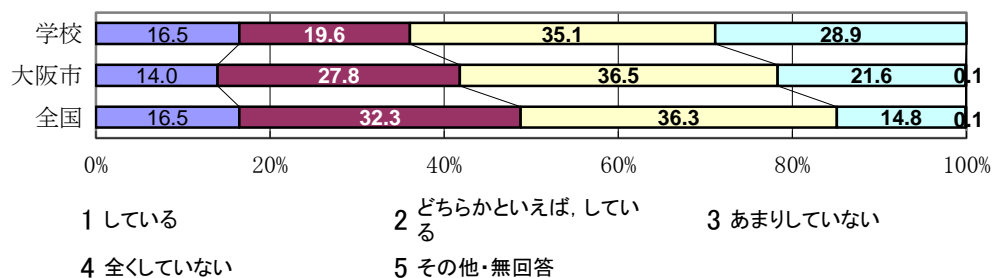
23

家で, 学校の授業の復習をしていますか



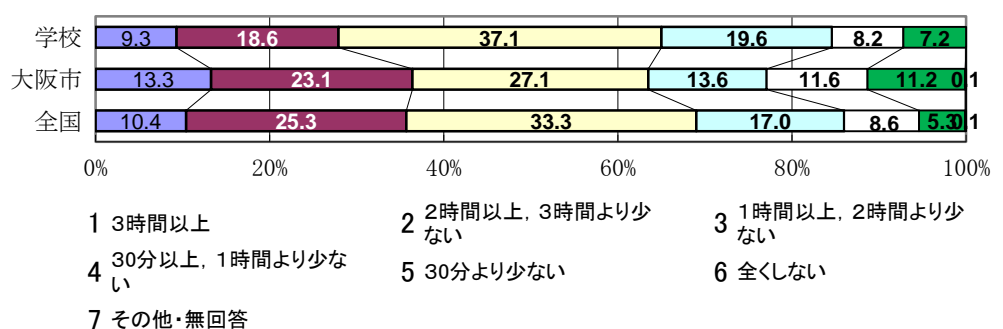
20

家で, 自分で計画を立てて勉強をしていますか



13

学校の授業時間以外に, 普段(月～金曜日), 1日当たりどれくらいの時間, 勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)



# 生徒質問紙より

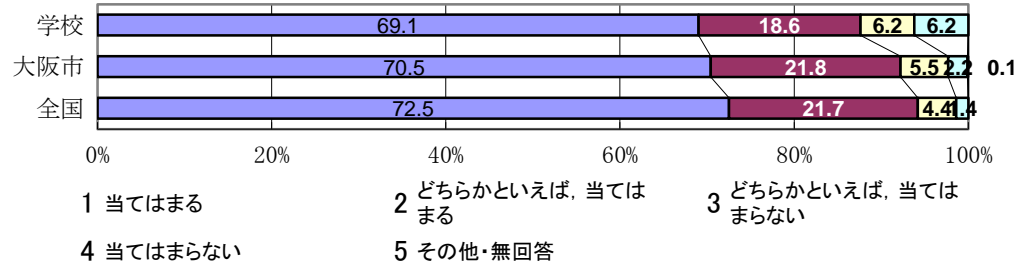
1 2 3 4 5 6 7 8 9

質問番号

質問事項

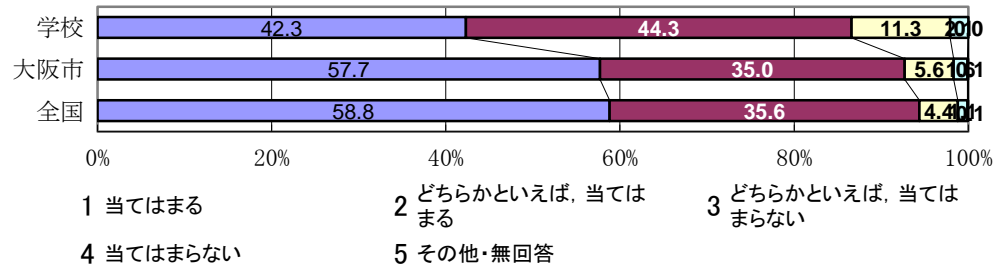
4

ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか



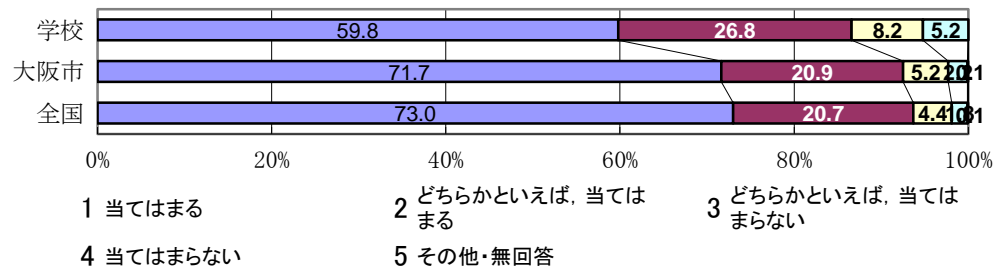
32

学校の規則を守っていますか



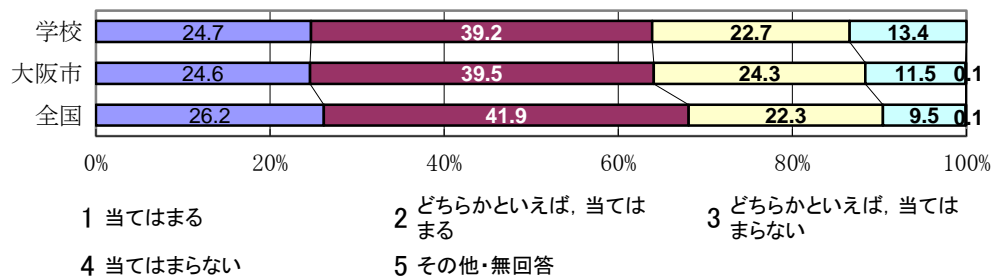
34

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



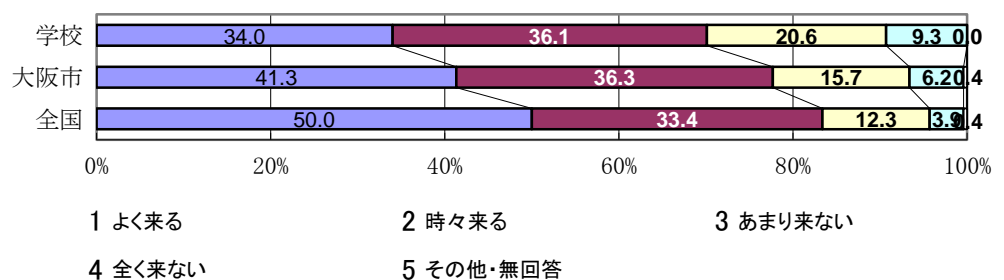
6

自分には、よいところがあると思いますか



19

家の人(兄弟姉妹を除く)は、授業参観や運動会などの学校の行事に来ますか



# 生徒質問紙より

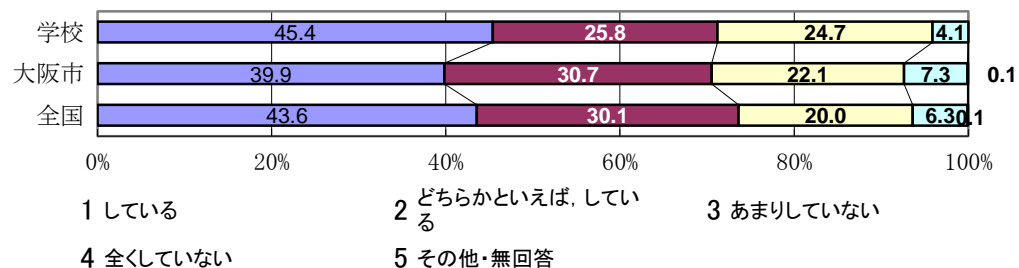
1 2 3 4 5 6 7 8 9

質問番号

質問事項

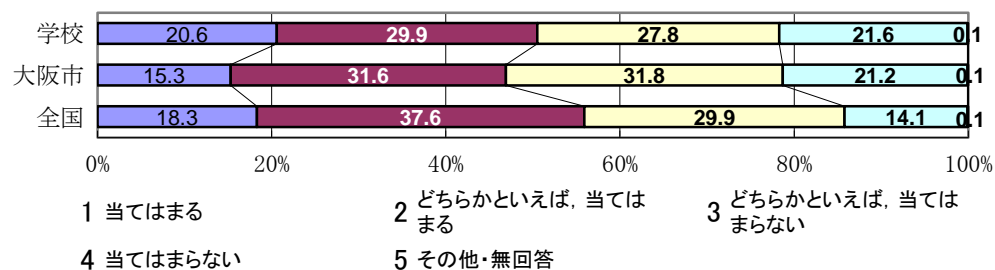
18

家の人(兄弟姉妹を除く)と  
学校での出来事について  
話をしますか



28

地域や社会で起こっている  
問題や出来事に興味があり  
ますか





# 学校質問紙より

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

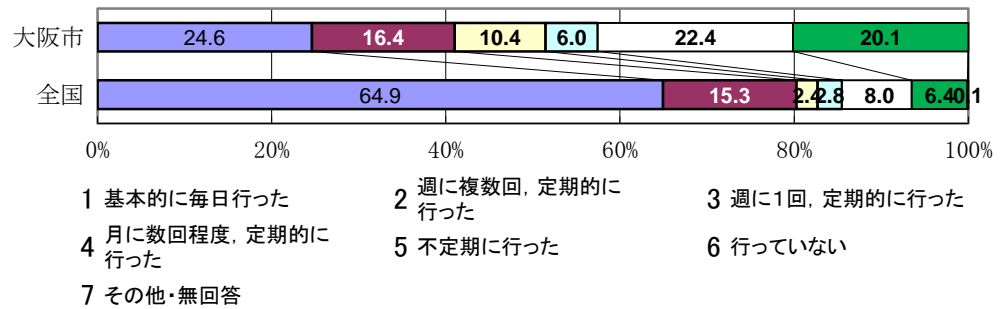
質問番号

質問事項

24

調査対象学年の生徒に対して、前年度に、「朝の読書」などの一斉読書の時間を設けましたか

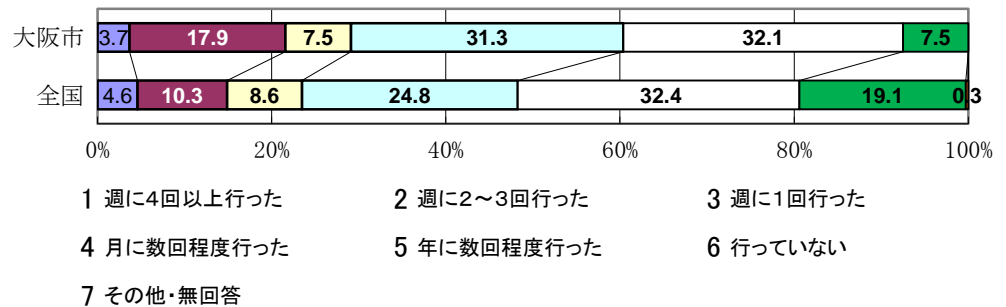
学校 「基本的に毎日行った」を選択



26

調査対象学年の生徒に対して、前年度に、放課後を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか

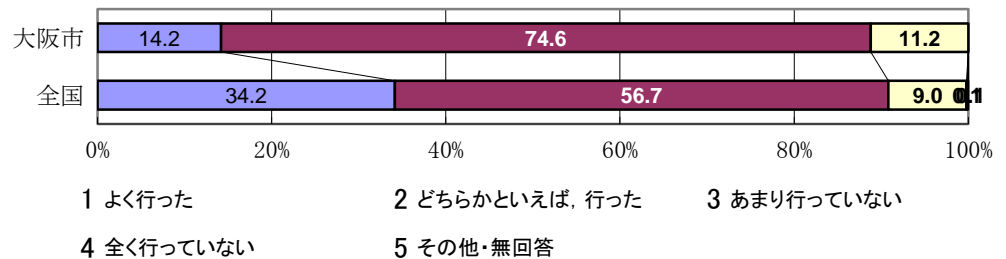
学校 「月に数回程度行った」を選択



30

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れましたか

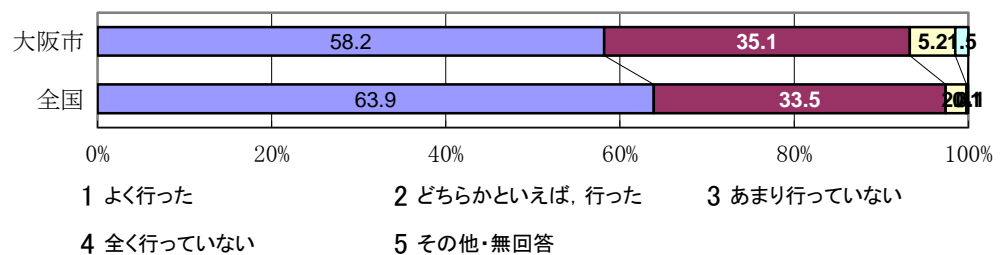
学校 「どちらかといえば、行った」を選択



44

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学習規律(私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守るなど)の維持を徹底しましたか

学校 「よく行った」を選択



50

平成26年度全国学力・学習状況調査の自校の結果を分析し、学校全体で成果や課題を共有しましたか

学校 「よく行った」を選択

